

議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party support (賛否), and review result (審議結果). Rows include various council proposals and resolutions.

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

市長から、監査委員の選任についての議案が提出され、議会はこれを同意しました。
監査委員 白土 英成
白土氏は、平成20年に初めて選任され、今回は再任となります。(敬称略)

12月定例会には、新たに請願4件が提出され、閉会中継統審査事件の案件と併せて所管の各委員会で審査しました。
議会は、このうち、3件を採択、4件を不採択としました。(審議結果は左表)

12月定例会には、意見書案11件が提出され、議会は、このうち7件を可決、4件を否決しました。
可決した意見書は、12月13日に関係行政庁へ送付しました。(審議結果は左表)

人事議案

請願

意見書

防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書(要旨)

国の防災基本計画には、2005年に「女性の参画・男女双方の視点」が初めて盛り込まれ、2008年には「政策決定過程における女性の参加」が明記された。この流れを受け、地域防災計画にも女性の参画・男女双方の視点が取り入れられつつあるが、具体的な施策にまで反映されているとは必ずしも言えない。
中央防災会議の「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」が、平成23年9月28日に取りまとめた報告でも、防災会議へ女性委員を積極的に登用し、これまで反映が不十分であった女性の視点を取り入れることへの配慮が盛り込まれている。よって、政府におかれては、防災会議に女性の視点を反映させるため、以下の項目について速やかに実施するよう強く要望する。
1. 中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること
2. 地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するため、都道府県知事や市区町村の長の裁量により、地方防災会議に有識者枠を設けることを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うこと

○平成24年定例会開会予定日○

Table showing meeting dates: 2月定例会 (2月13日), 6月定例会 (6月8日), 9月定例会 (9月7日), 12月定例会 (11月30日).

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

Table listing council members by party: 小泉文人 (新生会・市民の風), 鈴木啓一 (ポランティア), 石崎ひでゆき (増田好秀), 守屋貴子 (みんなの党), 佐藤義一 (守原よし), 佐藤義一 (民主・連合), 宮田幸つみ (宮田幸つみ), 佐藤幸則 (自由民主党), 湯浅止子 (湯浅止子), 秋本りん (秋本りん), かつまた竜大 (かつまた竜大), 社民・市民ネット, 加藤武幸 (加藤武幸), 井上義典 (井上義典), 自由クラブ, 谷藤利子 (谷藤利子), 桜井雅子 (桜井雅子), 清水貞子 (清水貞子), 高坂真作 (高坂真作), 金水貞子 (金水貞子), 日本共産党, 岩川一郎 (岩川一郎), 荒木清一郎 (荒木清一郎), 並木幸太郎 (並木幸太郎), 田中幸正 (田中幸正), 金子幸正 (金子幸正), みらい (みらい), 松永修二 (松永修二), 稲葉健巳 (稲葉健巳), 青木一史 (青木一史), 越前博清 (越前博清), 竹内雅浩 (竹内雅浩), 緑風会, 堀越雅浩 (堀越雅浩), 大場さや (大場さや), 宮本均 (宮本均), 浅野敦子 (浅野敦子), 西野義節 (西野義節), 中村義雄 (中村義雄), 戸村節子 (戸村節子), 公明党 (現員数41名)

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。

● 議員からの寄附やあいさつ状 (答礼のための自筆によるものを除く) は公職選挙法で禁止されています ●